

4/15祝

武器等防護過去最多31回

22年 日米豪訓練で初実施

防衛省は31日、安保法制＝戦争法のうち、自衛隊法95条の2に基づく自衛隊による他国軍艦艇・航空機の「武器等防護」について、2022年に計31回行つたと発表しました。前年比9増で、初めて実施した17年以降で最多となりました。

内訳は、情報収集・

防衛省は31日、安保法制＝戦争法のうち、自衛隊法95条の2に基づく自衛隊による他国軍艦艇・航空機の「武器等防護」について、2022年に計31回行つたと発表しました。前年比9増で、初めて実施した17年以降で最多となりました。

内訳は、情報収集・

警戒監視に当たる米艦艇が4回、自衛隊と共に同訓練中の米艦艇18回、航空機5回、さらにオーストラリア軍艦艇が4回となっています。昨年11月には、海上自衛隊が日米豪共同訓練で「武器等防護」を実施し、米原子力空母ロナルド・レーガンや、豪海軍の補給

艦を対象にしました。米艦を同時に「防護」対象にしたのは初めて。

「武器等防護」では、平時でも「防護」対象の他国軍が攻撃を受けた場合、自衛隊による武力行使が可能になつておらず、脱法的な集团的自衛権の行使だとの批判もあります。